

## 第 21 回研究大会概要

(2004 年度会報より)

第 21 回研究大会は、関西大学において 2004 年 12 月 11 日～12 日に開催された。その概要は次のとおりである。

### 統一論題報告・討論 (12 月 11 日 13 時 00 分～17 時 30 分)

テーマ「会計基準の世界統一と日本の選択」

司会：伊藤 邦雄 (一橋大学)

「会計基準をめぐる相互承認と世界統一の関係」

平松 一夫 (関西学院大学)

「コンバージェンスへ向けた IASB の動きについて」

山田 辰己 (国際会計基準審議会理事)

「会計基準の統一と財務情報の透明性」

奥山 章雄 (日本公認会計士協会前会長)

「会計基準統合化の目標、現状、展望」

斎藤 静樹 (明治学院大学, 企業会計基準委員会委員長)

### 懇親会 (12 月 11 日 18 時～20 時)

### 自由論題報告 (12 月 12 日 9 時～12 時 10 分)

[第 1 会場]

院生セッション

司会：川村 義則 (日本大学)

「現地国からみた地域別セグメント表示—FAS の問題点」

干 佳 (九州産業大学大学院)

「「のれん」の非償却アプローチとその会計上意味」

許 英姿 (明治大学大学院)

テーマ（会計基準）

司会：井上 達男（関西学院大学）

「クロス上場企業の会計基準選択論」

林 健治（富山大学）

「改訂 IAS21 による外貨換算会計基準の統一化について」

白木 俊彦（中部大学）

[第2会場]

テーマ（企業行動）

司会：白田 佳子（日本大学）

“Gains and Losses on Employee Benefits in Japan”

瀧野 恵理子（関西学院大学大学院）

「経営者報酬と利益調整に関する実証分析」

首藤 昭信（専修大学）

司会：百合草 裕康（兵庫県立大学）

「中国の銀行会計制度と不良債権問題」

石井 明（上武大学）

「企業買収合併の意思決定における財務会計情報の有用性と限界」

古江 誠司（トーマツ）

**会員総会（12月12日13時00分～14時10分）**

**ミニ・テーマセッション（12月12日14時20分～15時30分）**